支部のトピックス（北陸支部）

工業高校土木科で出前講座を開催

北陸支部では、「北陸建設界の担い手確保・育成」の一環として 2014 年度から新潟県立新潟工業高校土木科 2 年生を対象として出前講座を開催しています。学校から「生徒に土木工事、構造物のスケールの大きさを体感させたい」と要望があるため、出前講座は例年、現場見学と設計に関わる座学をセットにして行っています。

9 回目となる 2024 年度は、道路工事の見学と道路設計事例等を紹介した授業を行いましたので、概要を報告します。

新潟国道事務所で道路の完成模型を見学

～実施概要～

31 名の生徒が参加し、約 4 時間の日程で以下(1)・(2)の講座を実施しました。

(1)道路工事の見学

北陸地方整備局新潟国道事務所のご協力のもと、事務所での事業説明の後、国道 7 号栗ノ木道路・紫竹山道路の工事を見学しました。

生徒たちは、普段は間近で見ることができない仮設土留工や組み立て中の鉄筋、事務所に展示されている道路の完成模型を興味深そうに見学していました。

足場に登って橋脚の配筋を見学

(2)道路設計事例の紹介

道路の形を決める上での基礎知識を説明した後、路線選定の事例と 3D モデルを使った設計事例を紹介しました。2D モデルに比べ 3D モデルは分かりやすい、作ってみたい、という感想が多くありました。

(1)・(2)の終了後、生徒にアンケートを行いました。最近は、インターンシップ先の仕事に興味をもつ生徒が増えているようです。

2025 年度も講座の開催を予定していますので、他業種に負けないよう建設コンサルタントの魅力を伝えていきたいと思います。

学校での座学の様子

～ 参加した生徒の感想 ～

- 初めてコンサルタントのことを聞いたときは全然分かりませんでしたが、講座を聞いて様々な業者の方と話しながら図面化することが分かりました。
- 3D モデルを活用しているところに興味をもてたので、今後の土木関係の職業を選ぶ上でそのような技術を使っているところを選びたいです。